

最近の経済動向

平成29年4月号

北海道の景気動向(平成29年2月の経済指標を中心として)

一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している

■需要動向(消費・投資)

- P 1 個人消費(百貨店・スーパー販売額、コンビニエンスストア販売額、新車登録台数)
緩やかに持ち直している
- P 2 住宅建設(新設住宅着工戸数)
持ち直している
- P 3 公共工事(公共工事請負金額)
増加している
- P 3 観光(来道者数)
改善している
- P 4 輸出入(輸出入額)
輸出額、輸入額とも前年を上回った

■生産動向

- P 4 生産活動(鉱工業生産指数)
一進一退の動きとなっている
- P 5 企業倒産(件数、負債総額)
倒産件数、負債総額とも増加した

■雇用動向

- P 6 求人・求職(月間有効求人数・求職者数、有効求人倍率)
改善している
- P 7 失業(完全失業者数、完全失業率)

■物価動向

- P 7 物価(消費者物価指数)
消費者物価指数は前年を上回った

■企業情報

- P 8 企業のみなさまから伺いました

■地域の経済動向

- P 10 道南地域、道央地域、道北地域、オホーツク地域、十勝地域、釧路・根室地域

■景気動向指数・全国の景気

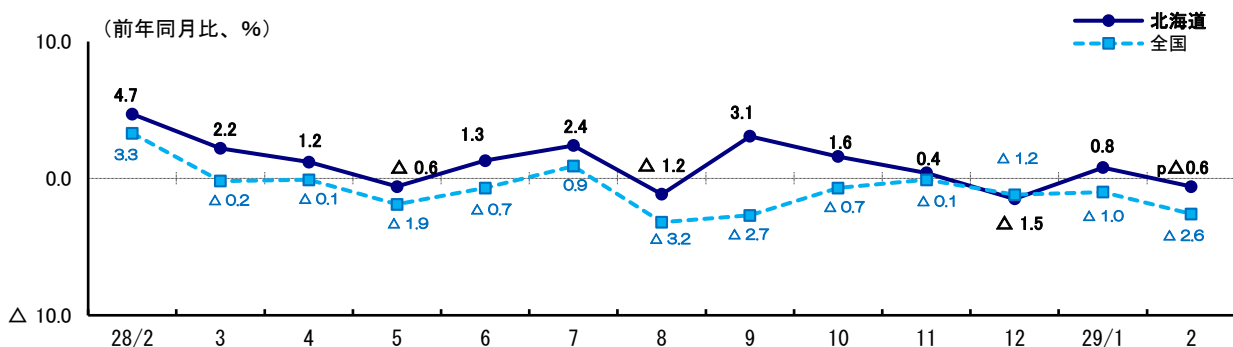
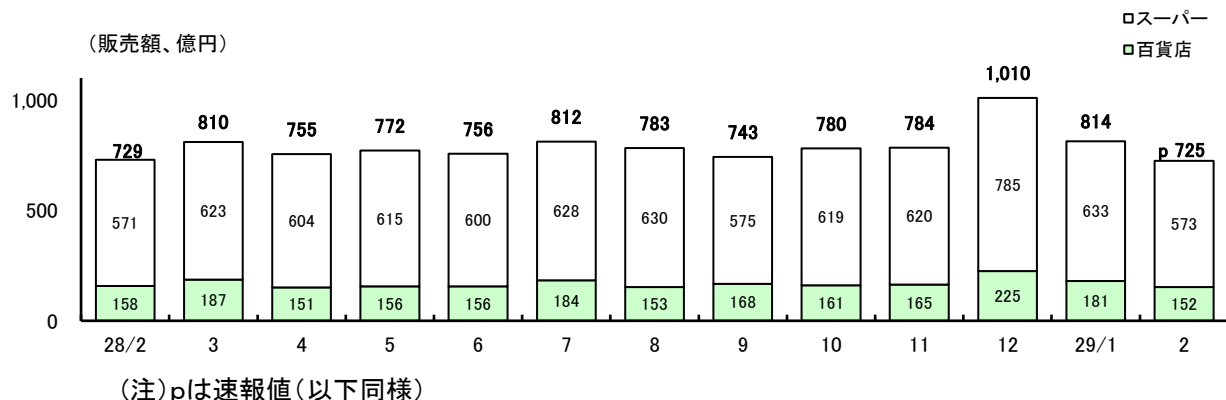
- P 16 北海道の景気動向指数

[需要動向(消費・投資)]

■個人消費～緩やかに持ち直している

◆百貨店・スーパー(全店)販売額(2月)◆

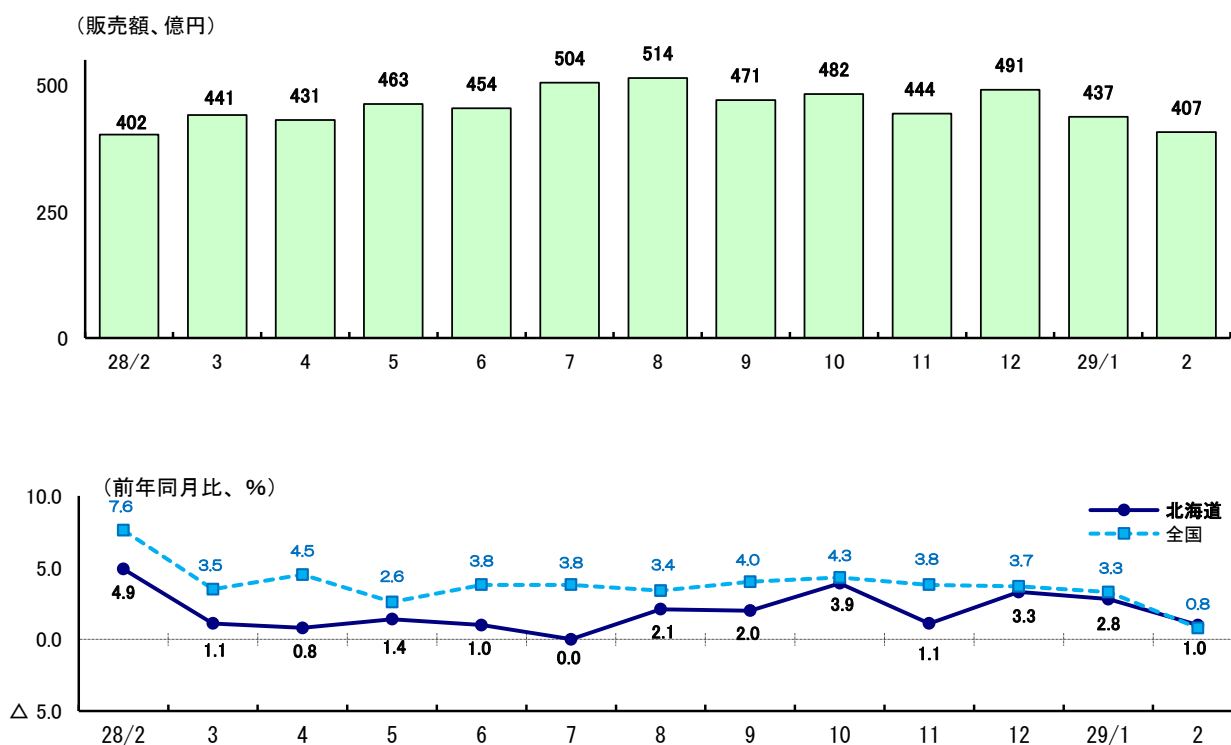
百貨店・スーパー販売額は、725億円で前年同月比0.6%の減少となり、2か月ぶりに前年を下回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆コンビニエンスストア(全店)販売額(2月)◆

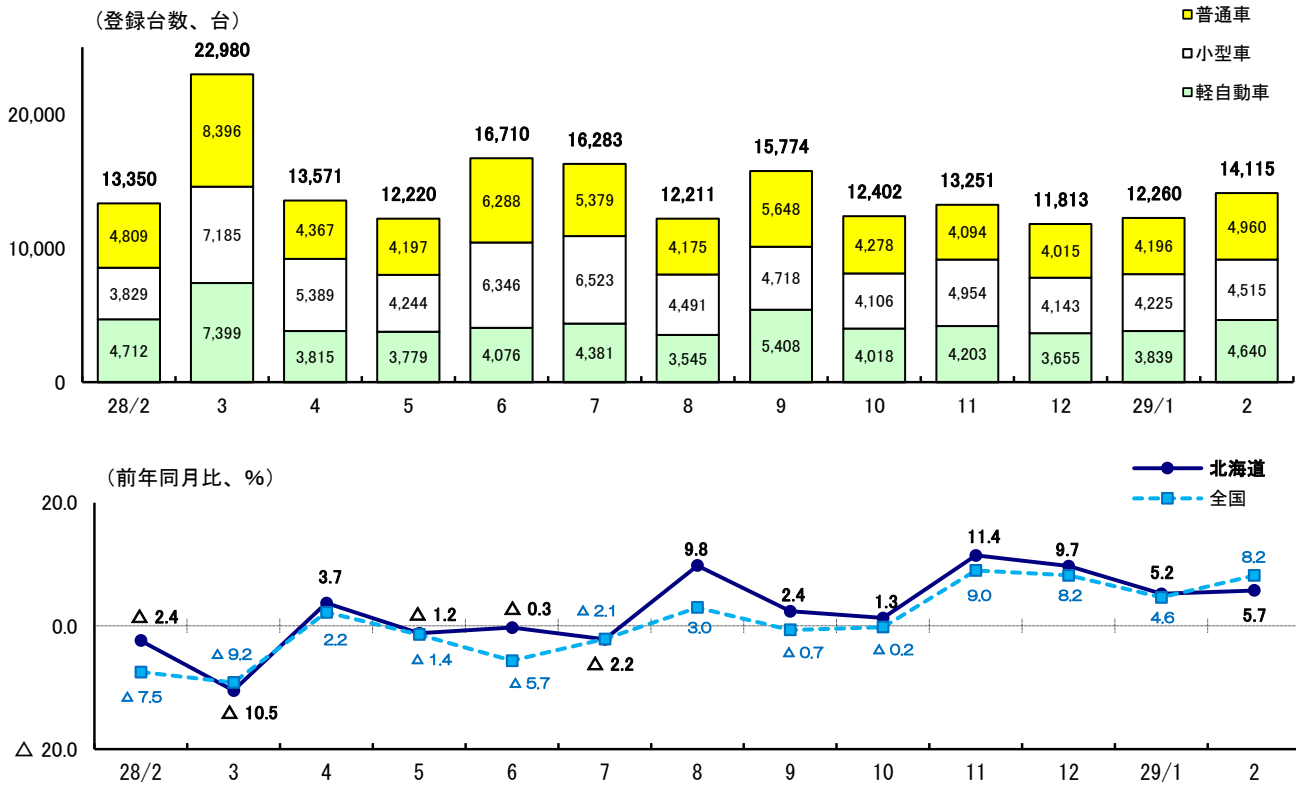
コンビニエンスストア販売額は、407億円で前年同月比1.0%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。



(経済産業省、北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数（2月）◆

新車登録台数は、14,115台で前年同月比5.7%の増加となり、7か月連続で前年を上回った。

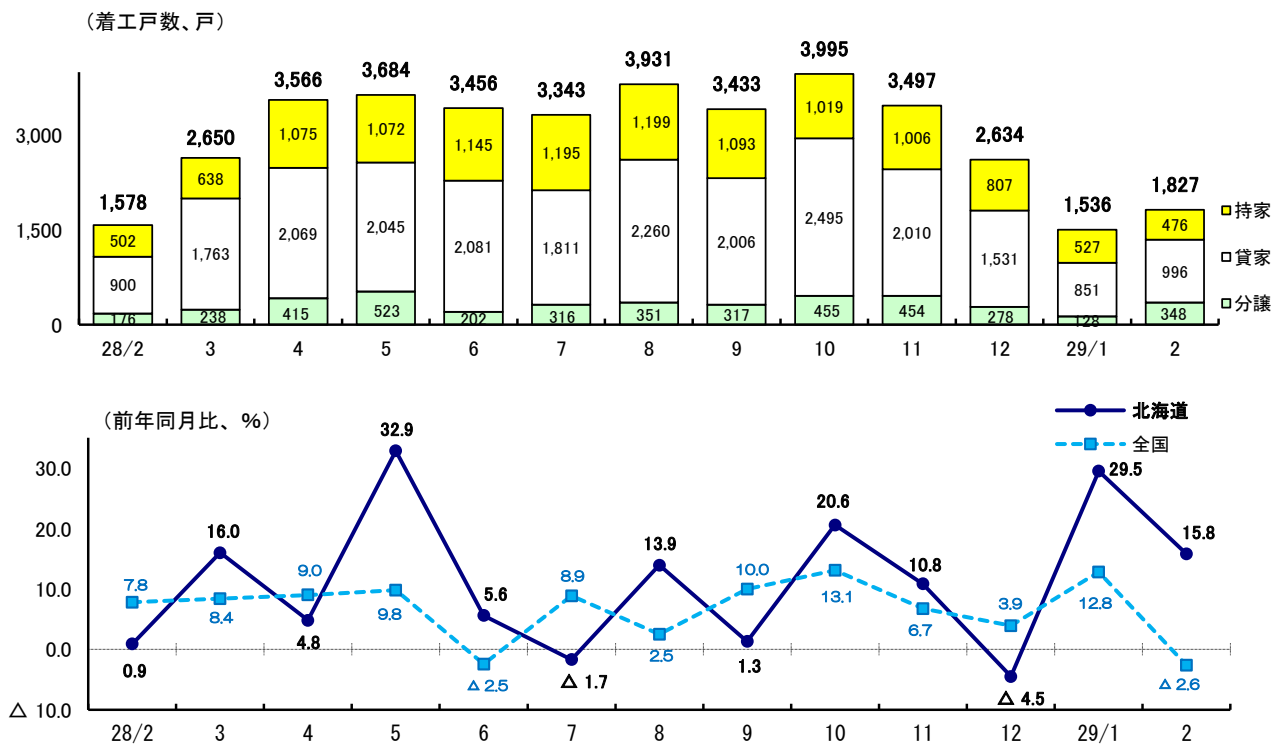


((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会調べ)

■住宅建設～持ち直している

◆新設住宅着工戸数（2月）◆

総戸数は、1,827戸で前年同月比15.8%の増加となり、2か月連続前年を上回った。

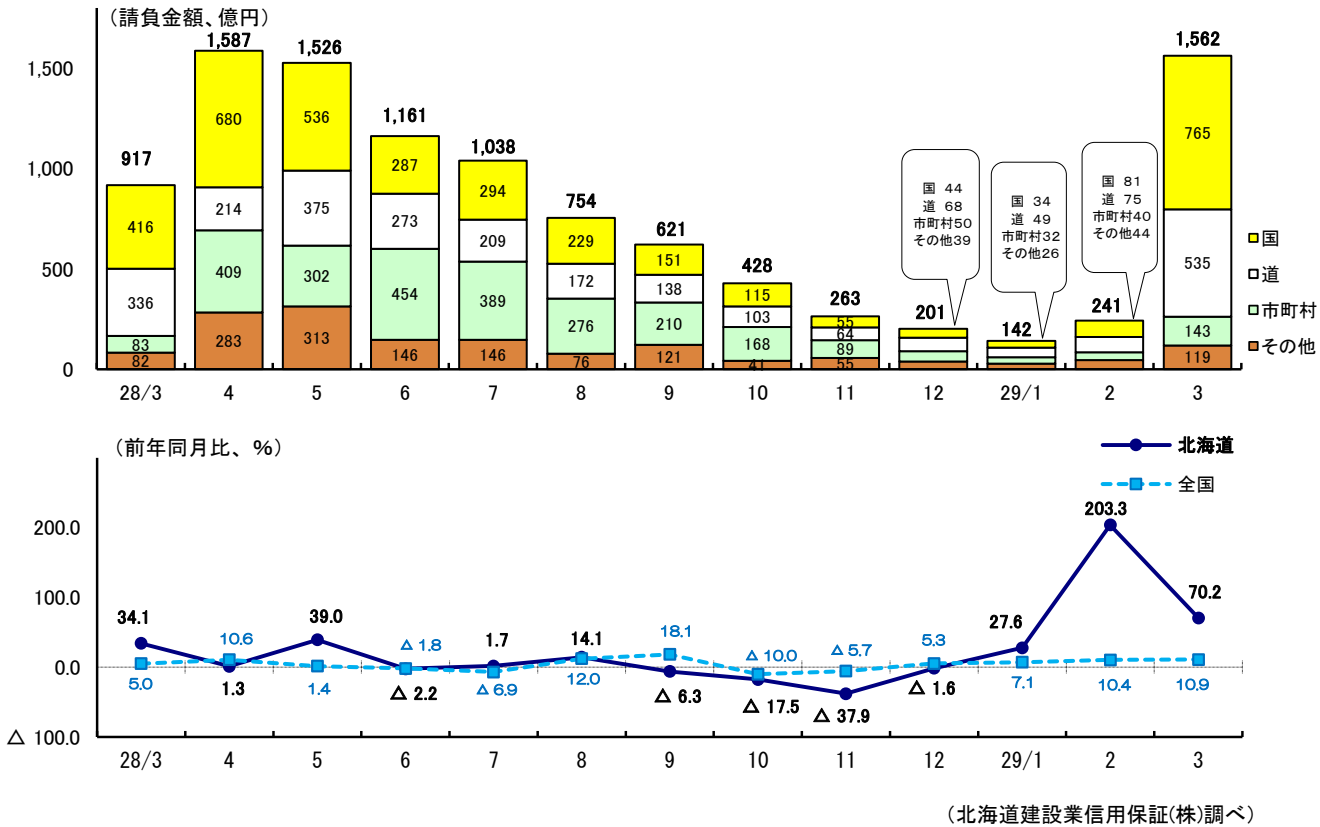


(国土交通省住宅局調べ)

■公共工事～増加している

◆公共工事請負金額（3月）◆

請負金額は、1,562億円で前年同月比70.2%の増加となり、3か月連続で前年を上回った。

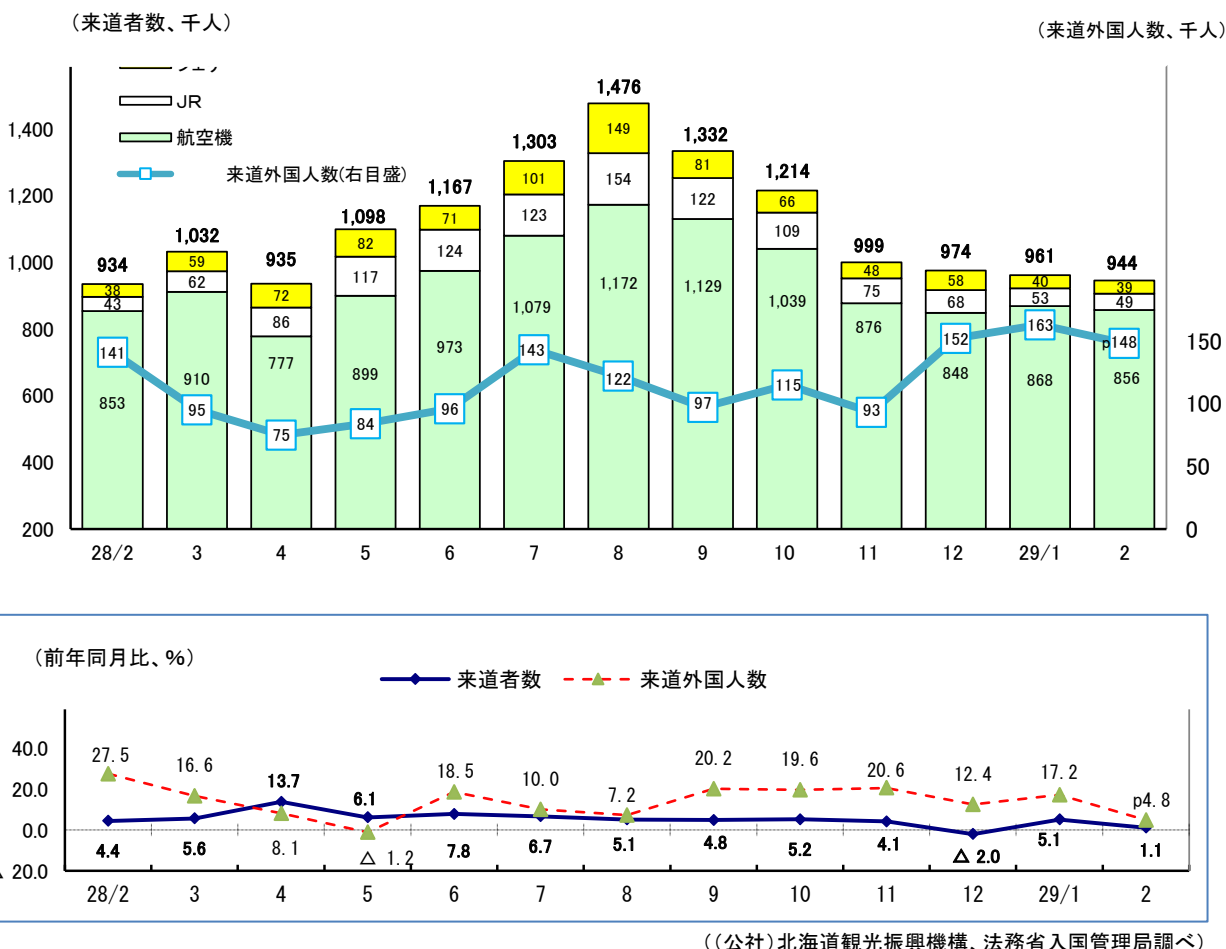


■観光～改善している

◆来道者数（2月）◆

来道者数は、94万4千人で前年同月比1.1%の増加となり、2か月連続前年を上回った。

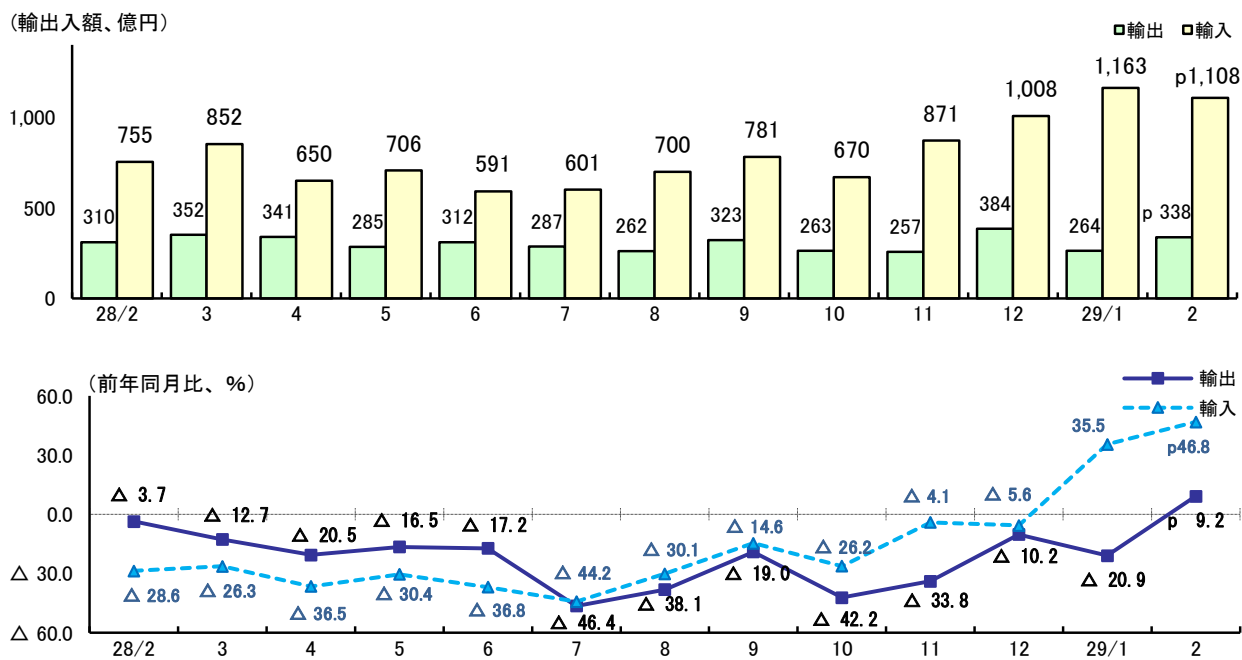
本道に直接入国した外国人は、14万8千人で同4.8%の増加となり、9か月連続で前年を上回った。



■輸出入～輸出額、輸入額とも前年を上回った

◆輸出入額（2月）◆

輸出額は、338億円で前年同月比9.2%の増加となり、16か月ぶりで前年を上回った。
輸入額は、1,108億円で同46.8%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



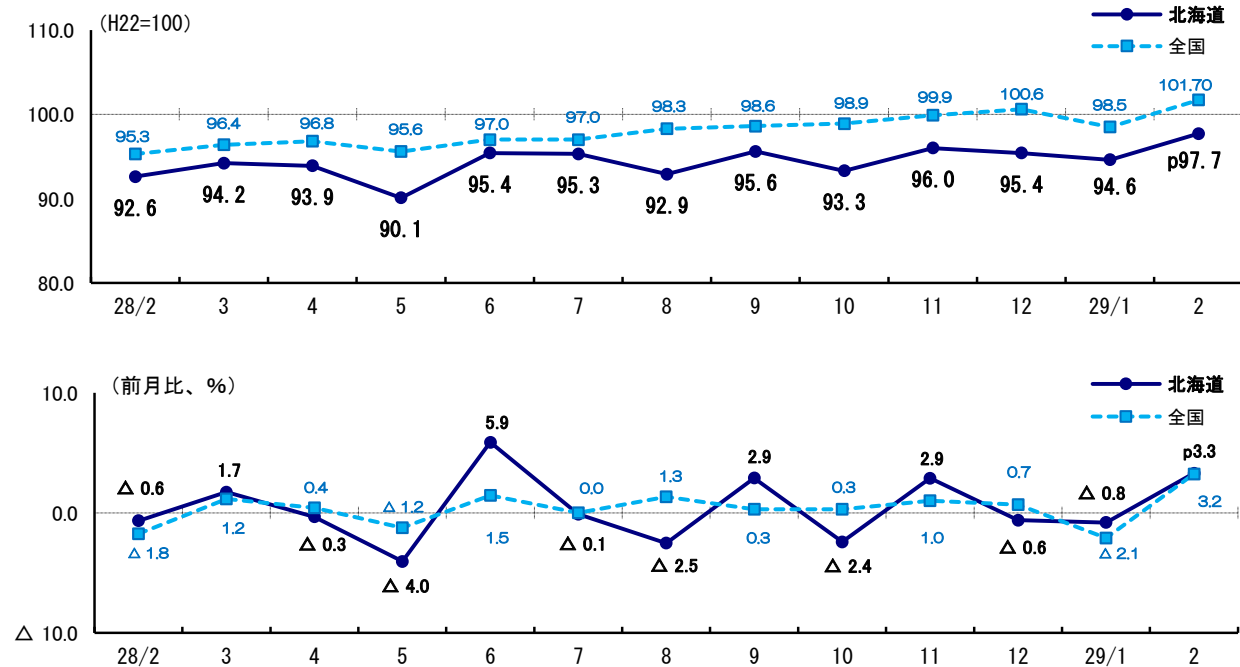
(財務省、函館税関調べ)

[生産動向]

■生産活動～一進一退の動きとなっている

◆鉱工業生産指数（2月）◆

鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.7で前月比3.3%の上昇となり3か月ぶりに前月を上回った。

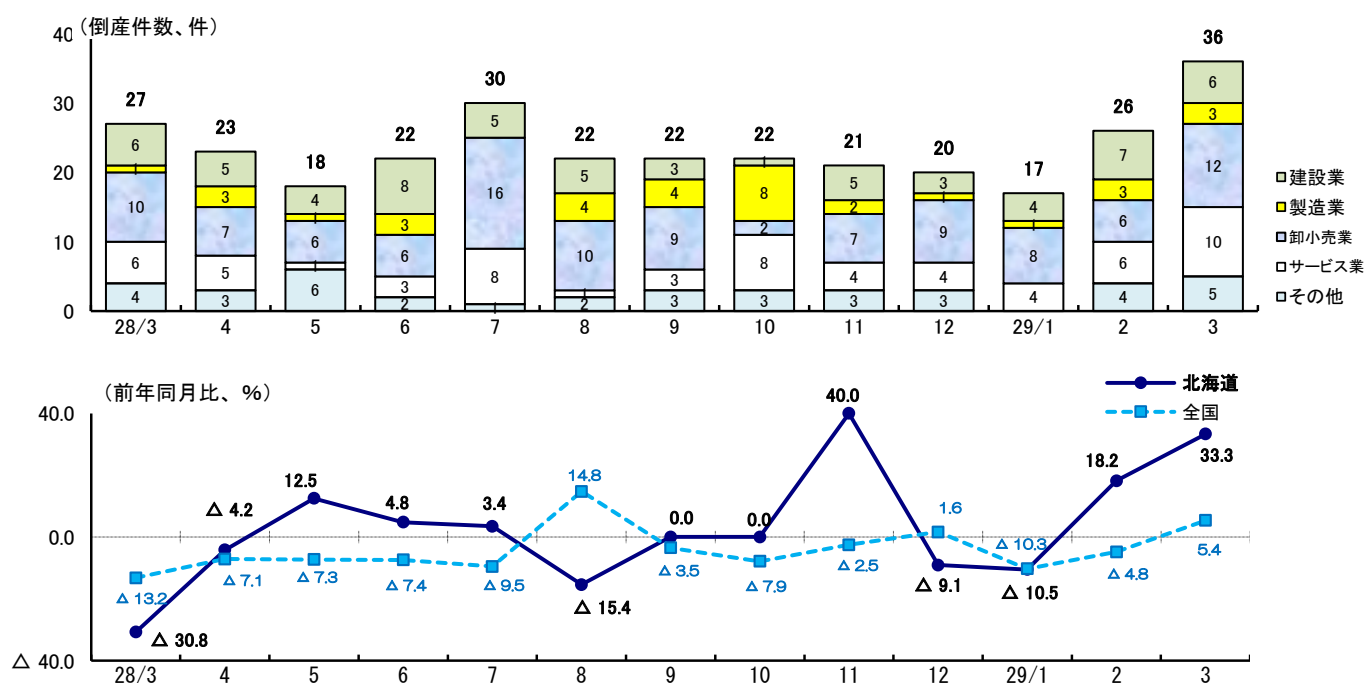


(北海道経済産業局調べ)

■企業倒産～倒産件数、負債総額とも増加した

◆企業倒産件数（3月）◆

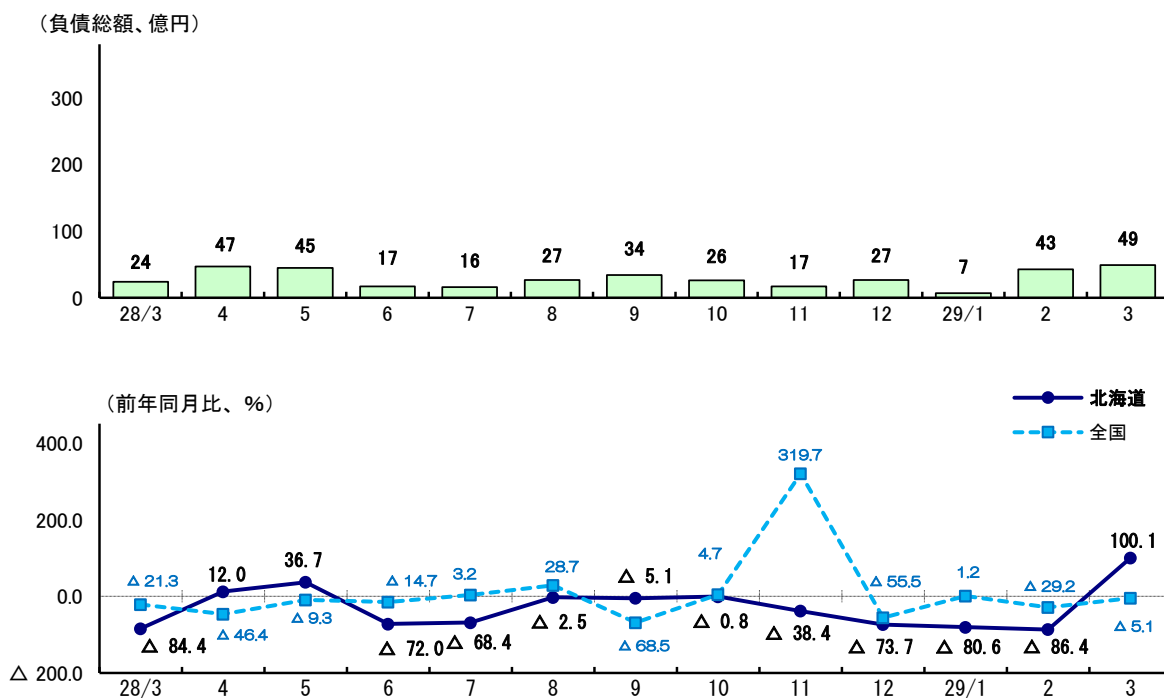
企業倒産件数は、36件で前年同月比33.3%の増加となり、2か月連続で前年を上回った。



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆負債総額（3月）◆

負債総額は、49億円で前年同月比100.1%の増加となり、10か月ぶりに前年を上回った。



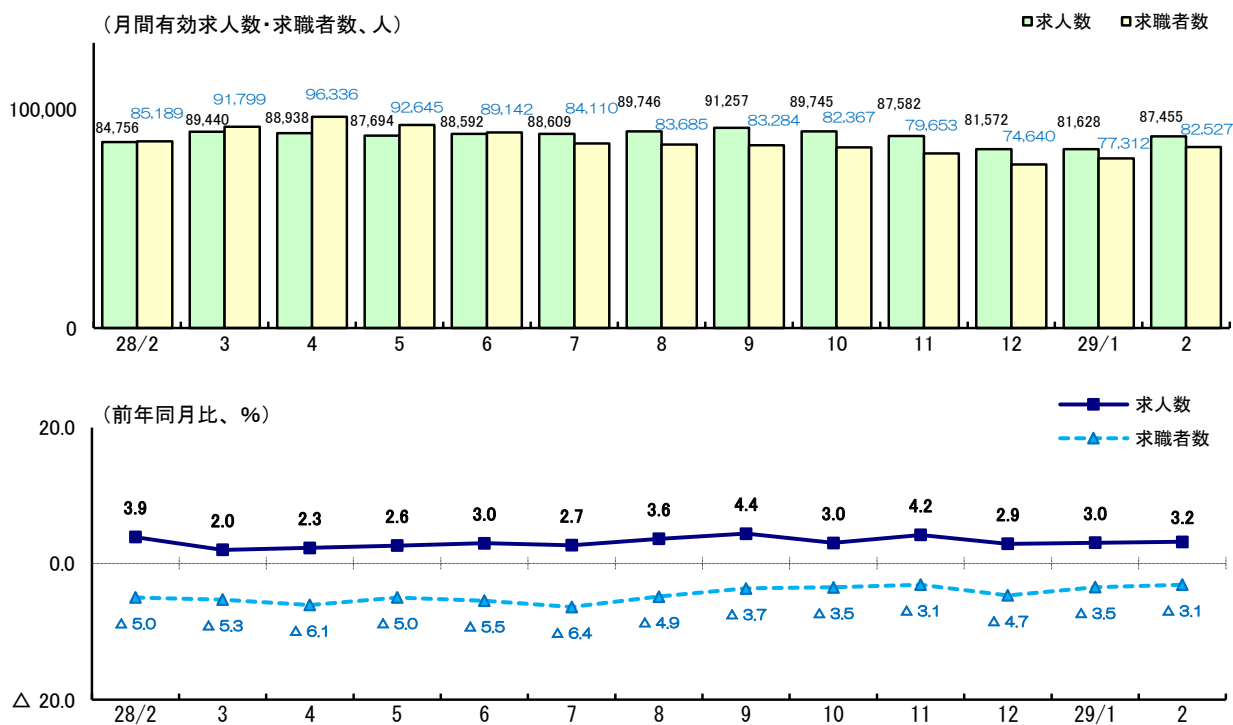
((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

[雇用動向]

■求人・求職～改善している

◆月間有効求人数・求職者数（2月）◆

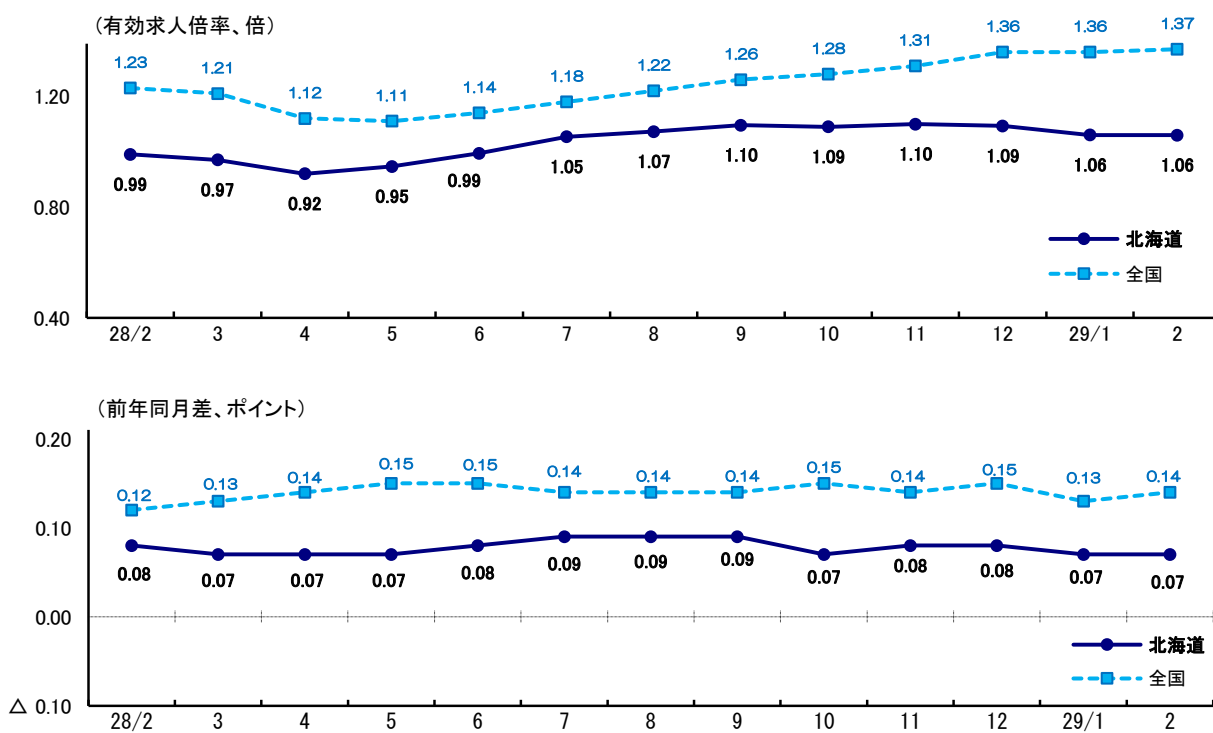
月間有効求人数は、8万7,455人で前年同月比3.2%の増加となり、85か月連続で前年を上回った。
 月間有効求職者数は、8万2,527人で同3.1%の減少となり、64か月連続で前年を下回った。



(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

◆有効求人倍率（2月）◆

有効求人倍率は、1.06倍で前年同月差で0.07ポイントの増加となり、85か月連続で前年を上回った。

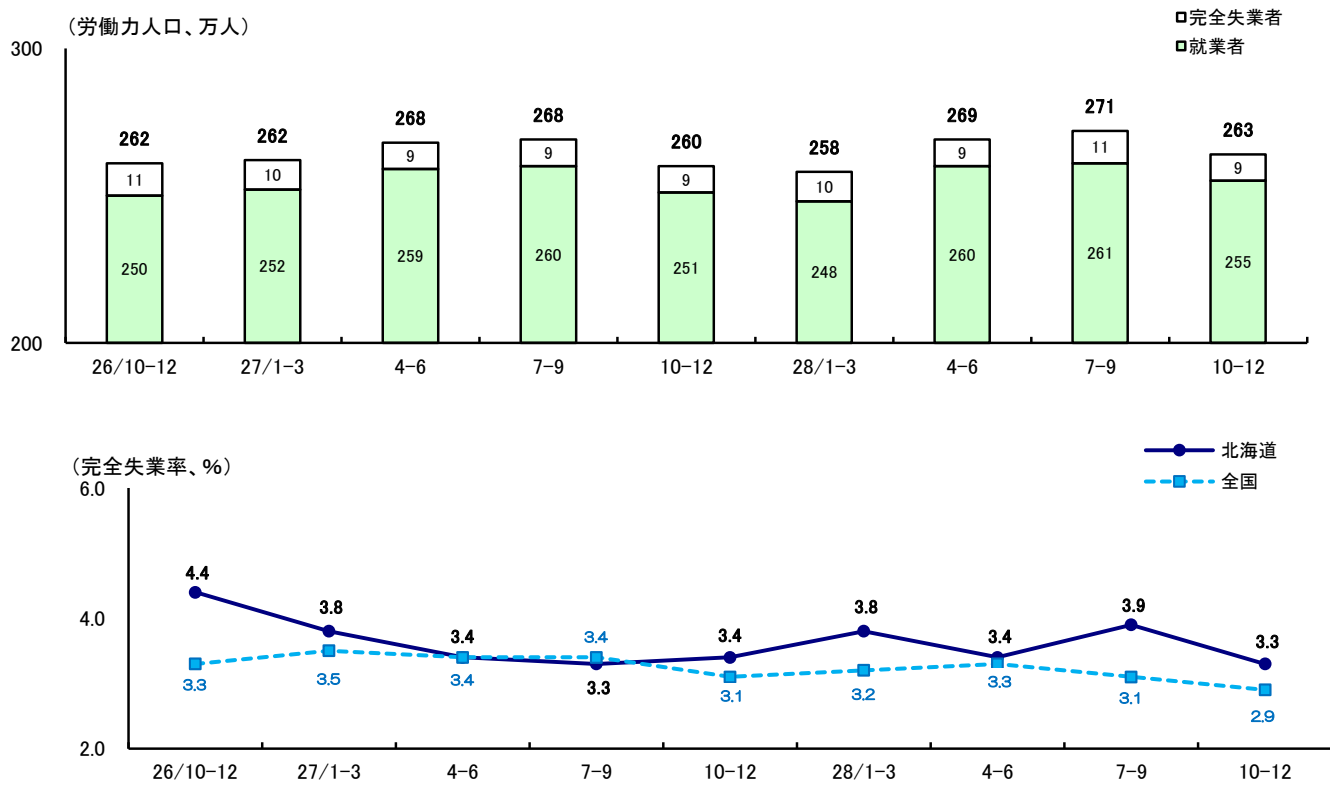


(厚生労働省及び北海道労働局調べ)

■失 業

◆完全失業者数、完全失業率（28年10-12月期）◆

完全失業者数は、9万人で前年同期と同数となっている。
完全失業率は、3.3%で前年同期から0.1ポイント低下した。



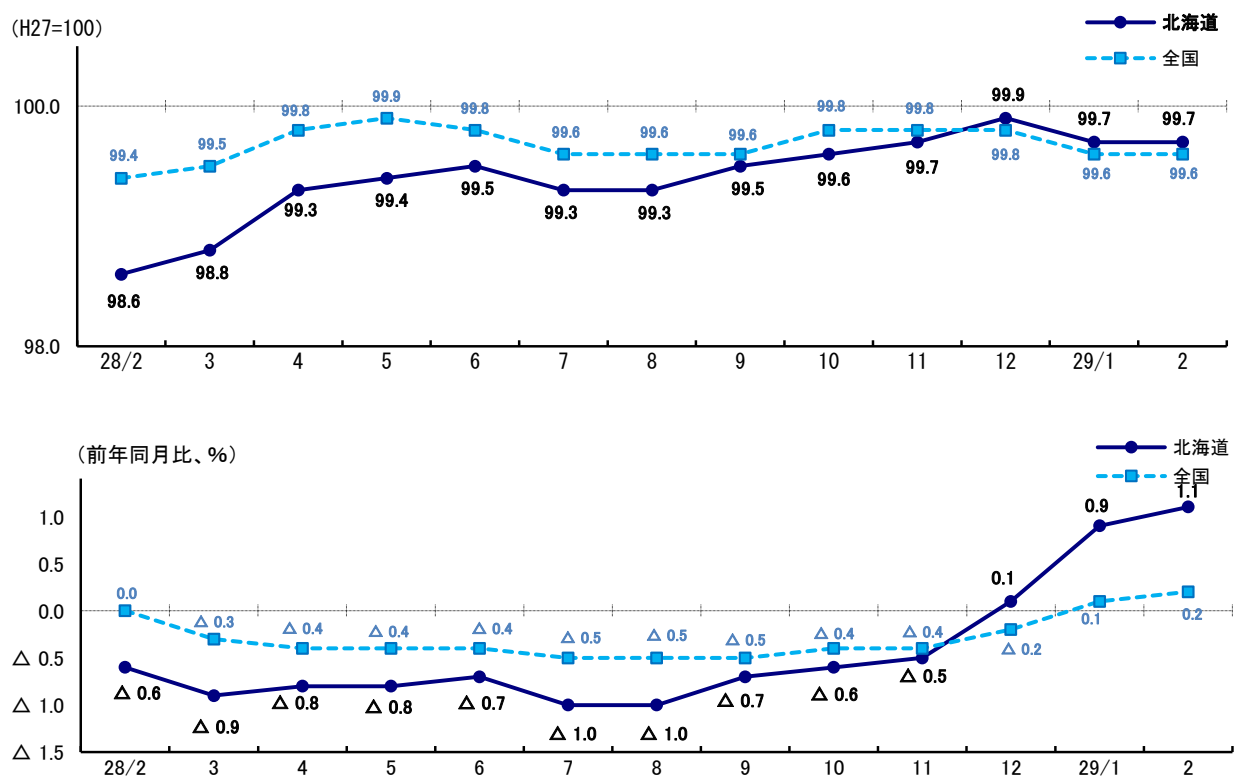
(総務省調べ)

[物価動向]

■物 価～消費者物価指数は前年を上回った

◆消費者物価指数（生鮮食品除く）（2月）◆

消費者物価指数は、99.7で前年同月と比べ1.1%の上昇となり、3か月連続して前年を上回った。



(総務省調べ)

[企業情報]

■企業のみなさまから伺いました

◆百貨店(道央地域)

【円安等の影響によりインバウンド客の売上が好調】

3月は、昨年に比べて気温の低く寒い日が多かったことから、ファッションアイテムの売上げは伸び悩んだものの、円安などを背景に外国人観光客の客数が伸び、化粧品などの消耗品が売上げを大きく伸ばしたことや特選雑貨も好調だったことで、全体の売上也プラスとなった。

◆スーパー(道央地域)

【売上や客数など前年並みの水準となった】

3月は、下旬に少量の降雪があったが、晴れの日が多く気温も高かったことから雪解けが進んだことで客足も順調となり、売上、客単価、買上点数などが前年並みの水準となった。

ひな祭りでは、お菓子を中心に前年を上回って推移しており、特に、昨今のブームを背景に甘酒の売れ行きが好調だった。

新入学に向けての動きが本格化する4月の売上に期待している。

◆コンビニエンスストア(道央地域)

【気温が高い影響でアイス類などが好調】

3月は、昨年のタバコ値上げによる駆け込み需要の反動が一部で見られたものの、例年より気温が高く、飲料やアイス類が好調であったため、売上・客数ともに前年並みの水準となった。

【観光地は好調に推移】

観光地はインバウンド客やコンドミニアム等の工事需要があったため、客足が伸び売上が好調であった。

【プレミアムフライデーの効果について】

プレミアムフライデーはキャンペーンを行った結果、購買意欲が高まり、買いあわせ効果が見られたことから、展開の参考としたい。

◆ホテル・旅館業(道央地域)

【観光客の入り込み状況】

昨年の宿泊客は対前年を上回り、なかでも外国人観光客の伸びは顕著となっている。過去にはオーストラリアからの観光客が多かったが、現在は中国からの利用客が伸びている。中国からの利用客が増えている理由としては、中国では10年ほど前からスキー人口が急増していること、他国にスキー旅行に行っていた中国人が、ここ数年前から旅行先を北海道に変更していることがあげられる。

インターネットを利用して小グループ単位で北海道を周遊する旅行商品を購入する外国人観光客が多く、このホテルには5泊程度宿泊している。

【雇用(人手不足対策)】

ホテルのスタッフについては、通年雇用は40名程度であるが、宿泊客が増える冬季は90名程度が必要となるため、道内のグループ会社からの人員応援や周辺ゴルフ場のスタッフなどでやりくりしている。スタッフによる対応でも不足する分は募集をかけるが、『休みの時間を利用しスキーを楽しむことができる』という条件が功を奏し、冬場の人員の確保は比較的容易である。

◆リゾート(道央地域)

【観光客の入り込み状況】

今期(12月～2月)、ニセコ地区における主なリゾートホテルの宿泊者数は約15万人で、このうち外国人は12万人となっている。最も多くを占めるオーストラリア人は、昨シーズンより4割減となった。中国人やインドネシア人は増えてはいるが、まだ絶対数は少ない。

【為替の影響】

ニセコ地区を訪れる外国人観光客は、より良質なサービスを受けることができれば、お金の糸目をつけない富裕層ばかりなので、為替やマイナス金利などの影響はほとんどない。

昨年の英国のEU離脱に伴い為替相場に影響が及んだ時期もあったが、ホテルの予約には全く影響はなかった。

【電気料金の引き上げの影響】

蛍光灯などをLEDに切り替えるにはイニシャルコストが嵩むため、経費節減と言うよりは環境への配慮とより良いサービスを提供するという観点で一部の機器で対応している程度。

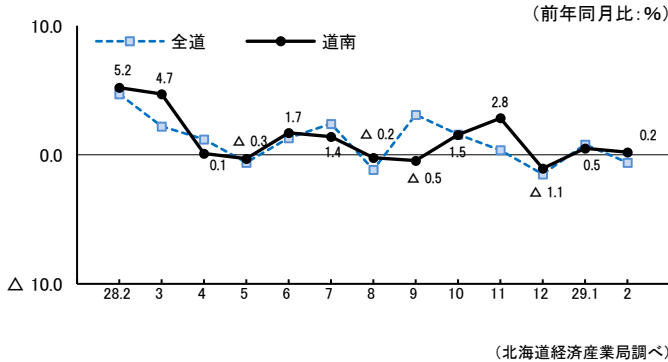
特に、スキー場のライトは、ある程度の発熱効果がなければ雪が付着してしまうため、発熱効果が少ないLEDでは代替できない。

[地域の経済動向]

■道南地域

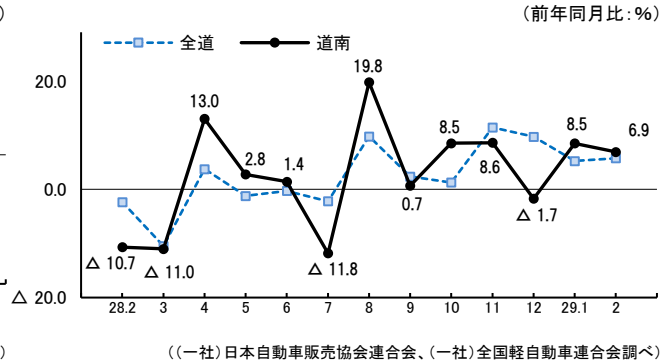
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆

(全店、函館市)
2か月連続で前年を上回った



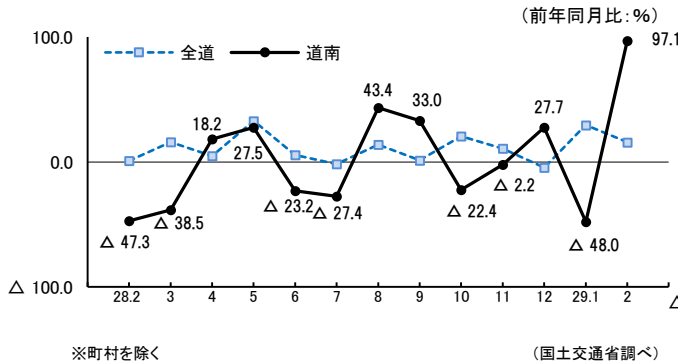
◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

2か月連続で前年を上回った



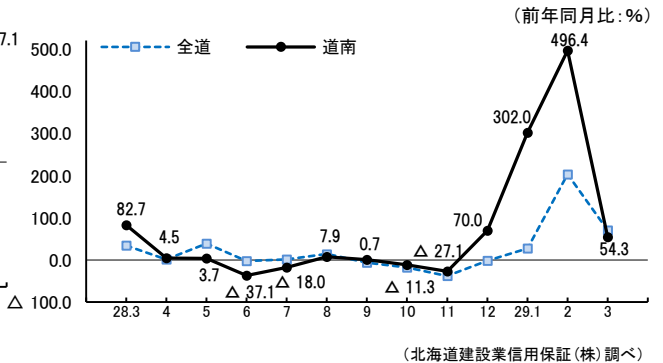
◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月ぶりに前年を上回った



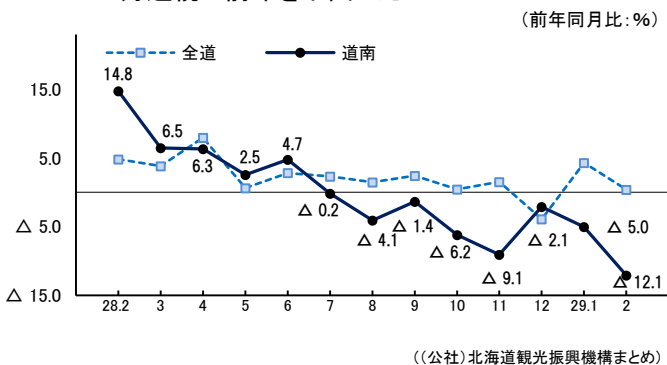
◆公共工事請負金額(3月)◆

4か月連続で前年を上回った



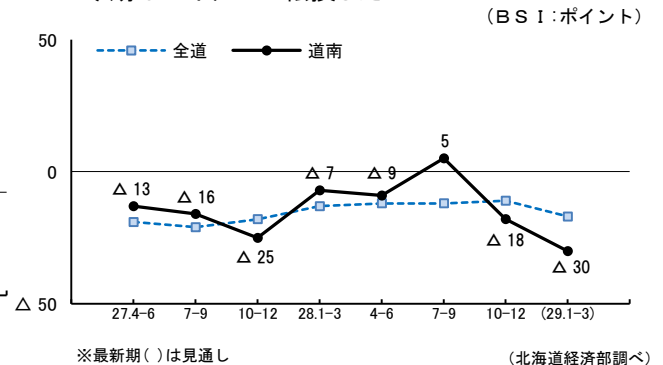
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

8か月連続で前年を下回った



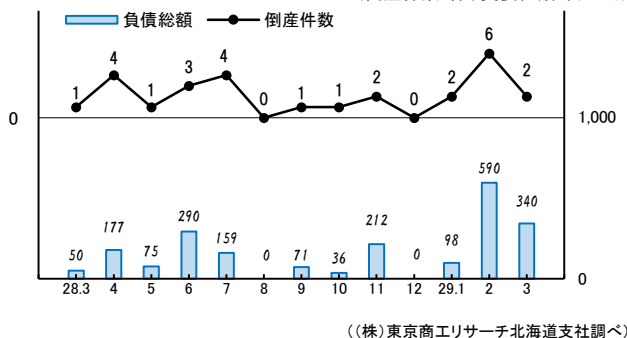
◆企業の業況感(10-12月期)◆

今期はマイナスに転換した



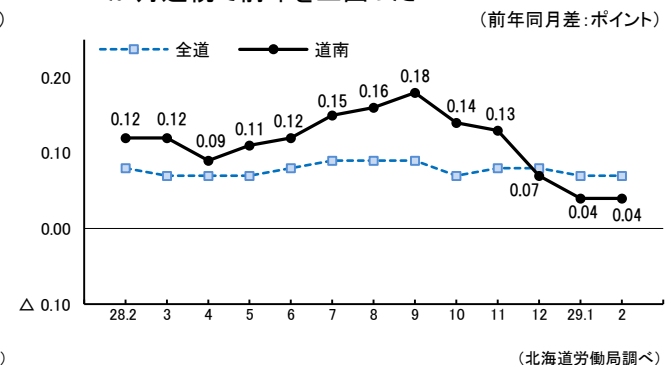
◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆

(倒産件数:件、負債総額:百万円)



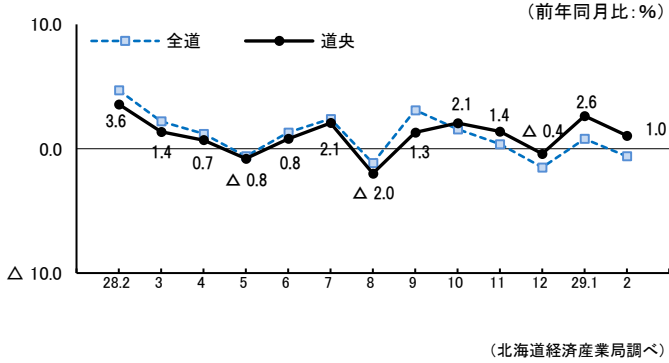
◆有効求人倍率(2月)◆

82か月連続で前年を上回った

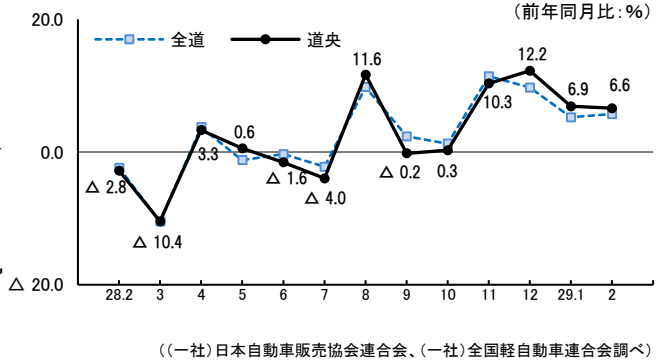


■道央地域

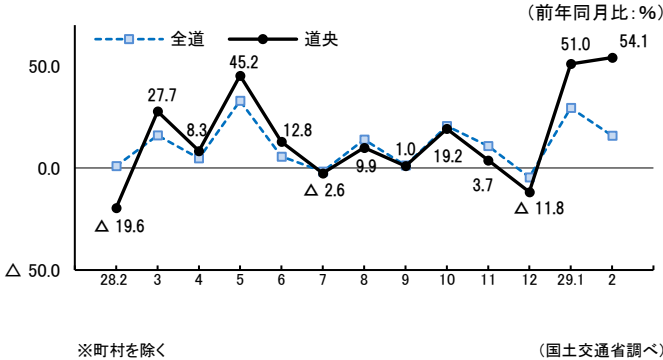
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆ (全店、札幌市・小樽市・苫小牧市・室蘭市) 2か月連続で前年を上回った



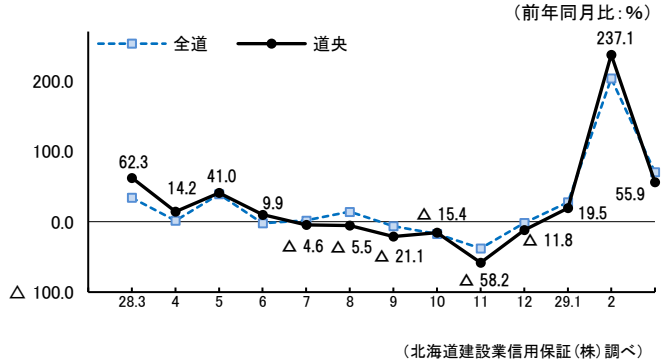
◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆ 5か月連続で前年を上回った



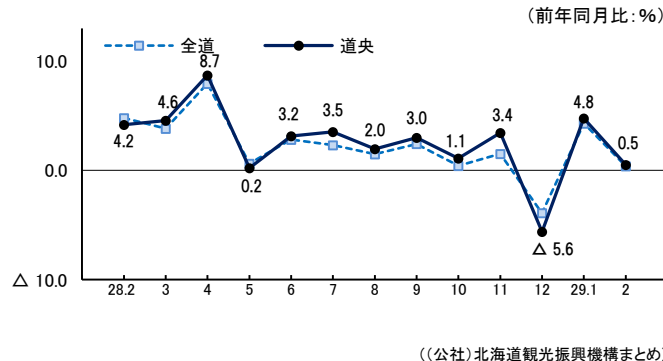
◆新設住宅着工戸数(2月)◆ 2か月連続で前年を上回った



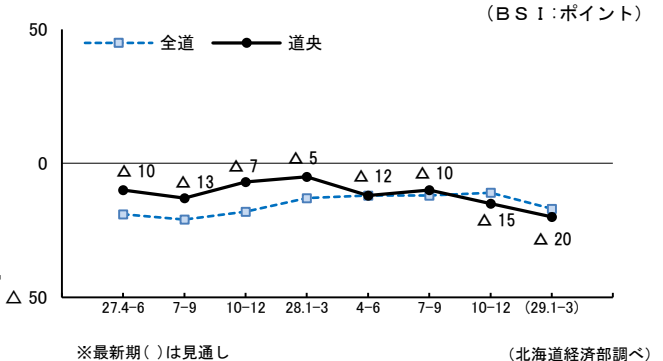
◆公共工事請負金額(3月)◆ 3か月連続で前年を上回った



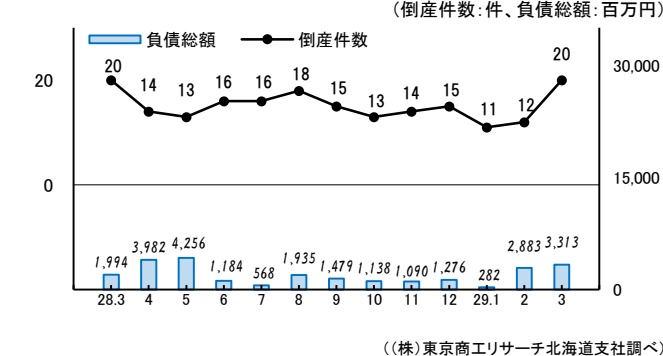
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆ 2か月連続で前年を上回った



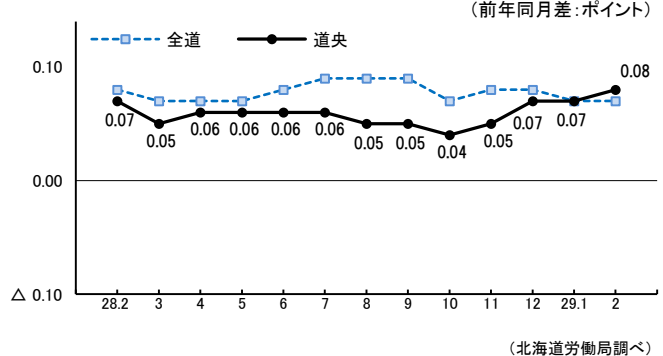
◆企業の業況感(10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が拡大した



◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



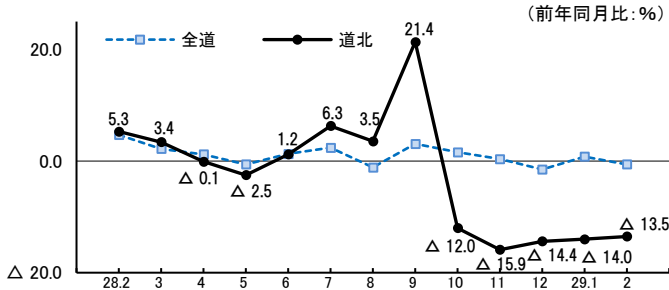
◆有効求人倍率(2月)◆ 84か月連続で前年を上回った



■道北地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆

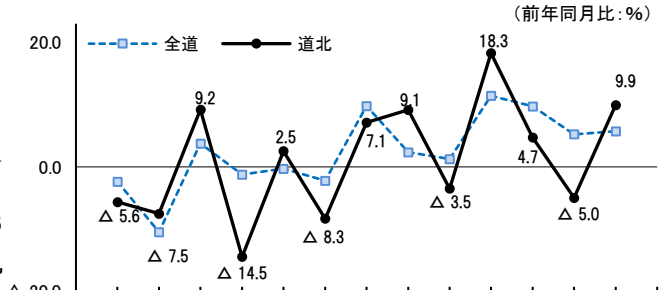
(全店、旭川市)
5か月連続で前年を下回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆

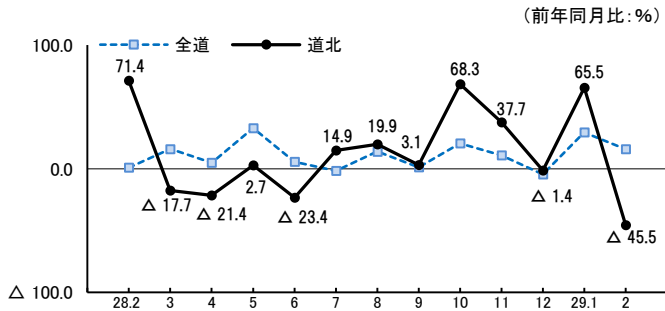
2か月ぶりに前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数(2月)◆

2か月ぶりに前年を下回った

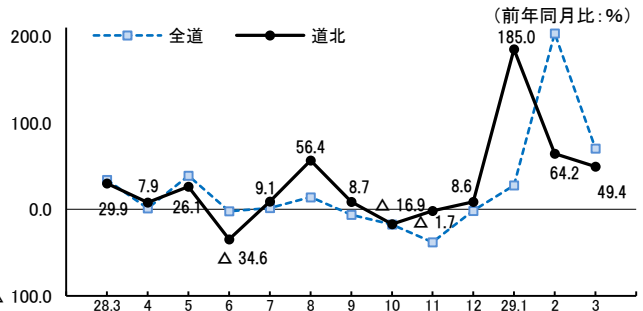


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額(3月)◆

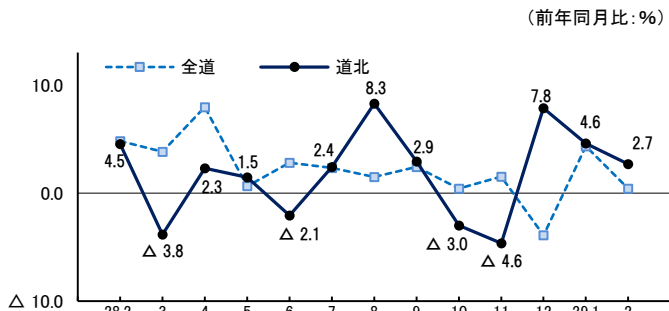
4か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆

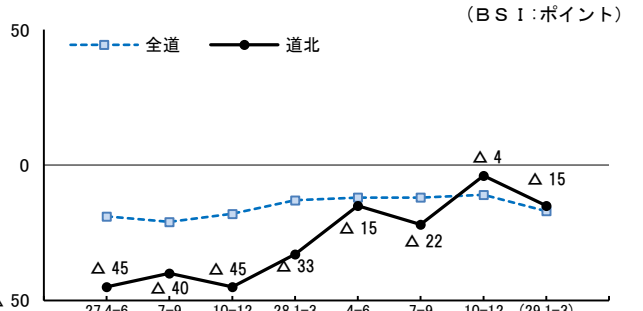
3か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感(10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



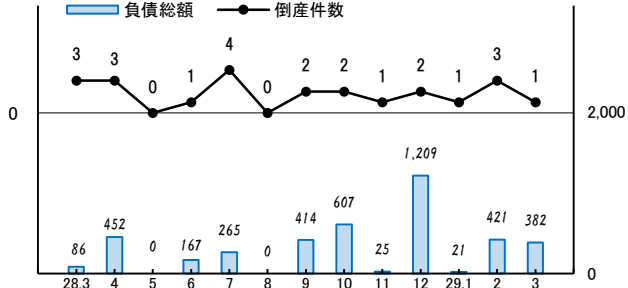
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

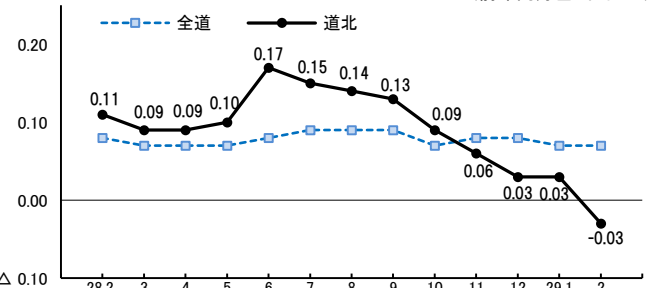


((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率(2月)◆

86か月ぶりに前年を下回った

(前年同月差:ポイント)

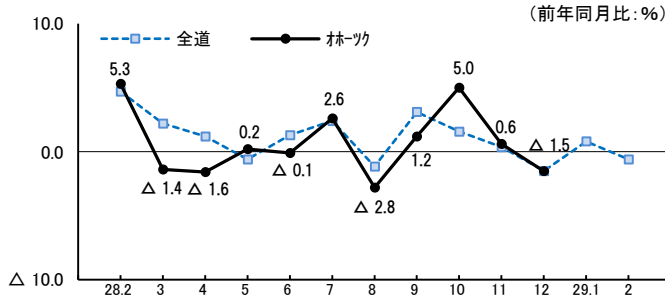


(北海道労働局調べ)

■オホーツク地域

◆主要小売店売上高（全店）（12月）◆

4か月ぶりに前年を下回った

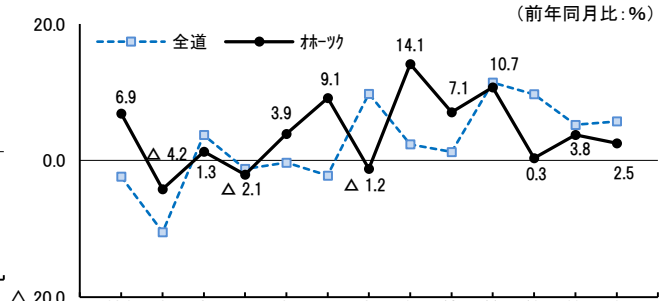


※全道は大型小売店販売額

(北海道財務局北見出張所調べ)

◆新車登録台数(乗用車) (2月)◆

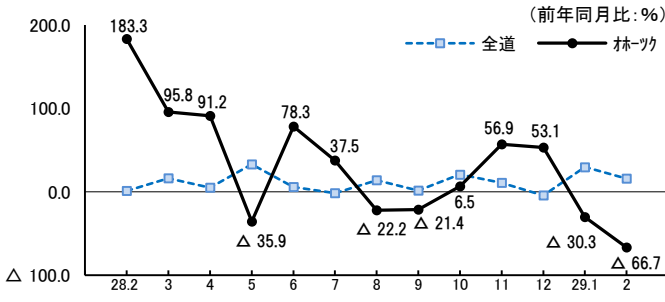
6か月連続で前年を上回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (2月)◆

2か月連続で前年を下回った

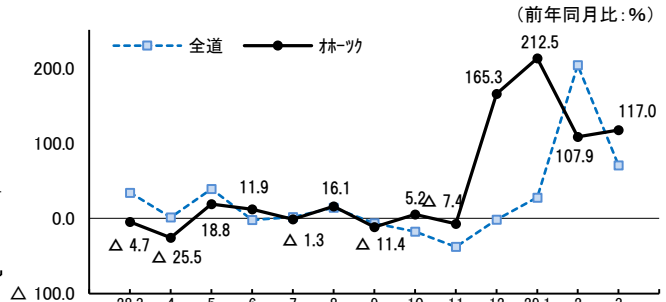


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (3月)◆

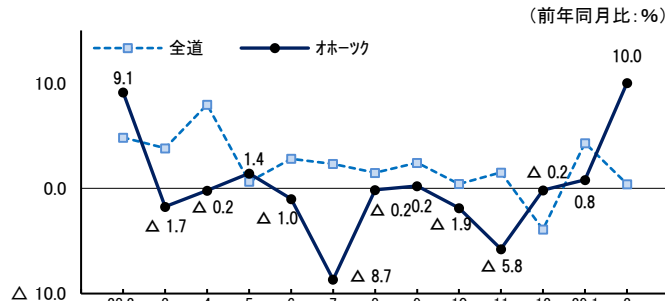
4か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆

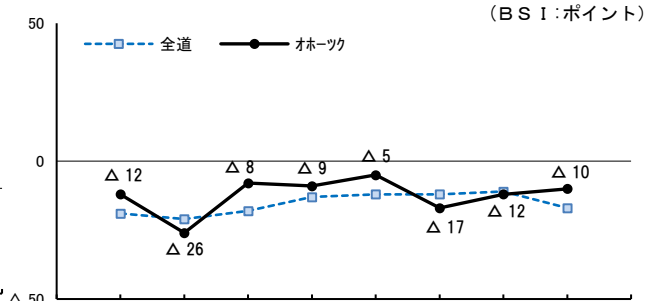
2か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



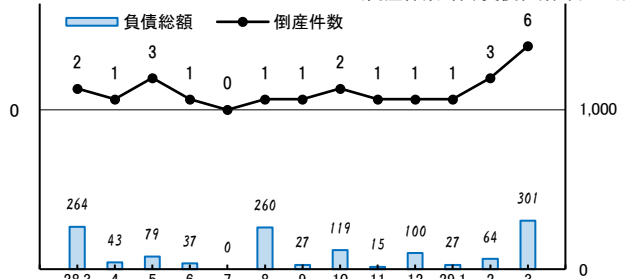
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

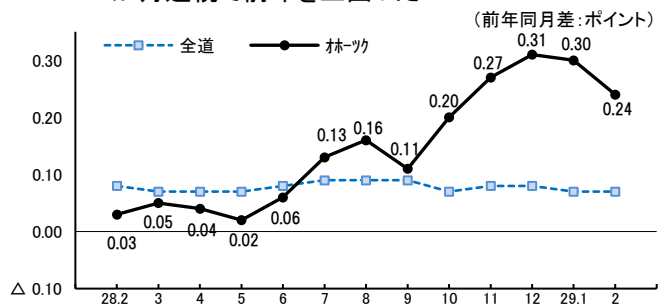
(倒産件数:件、負債総額:百万円)



((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率 (2月)◆

90か月連続で前年を上回った

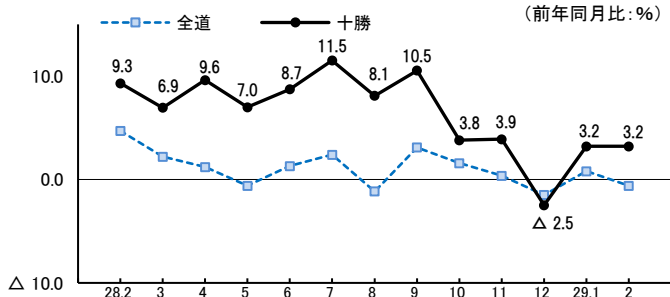


(北海道労働局調べ)

■十勝地域

◆百貨店・スーパー販売額(全店) (2月)◆

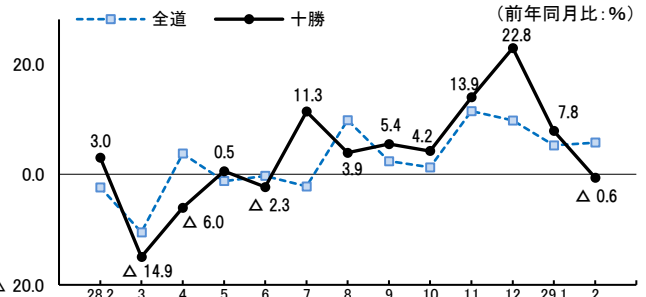
(全店、帯広市)
2か月連続で前年を上回った



(北海道経済産業局調べ)

◆新車登録台数(乗用車) 2月)◆

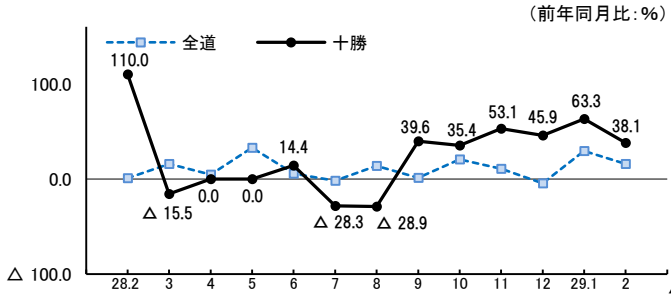
8か月ぶりに前年を下回った



((一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車連合会調べ)

◆新設住宅着工戸数 (2月)◆

6か月連続で前年を上回った

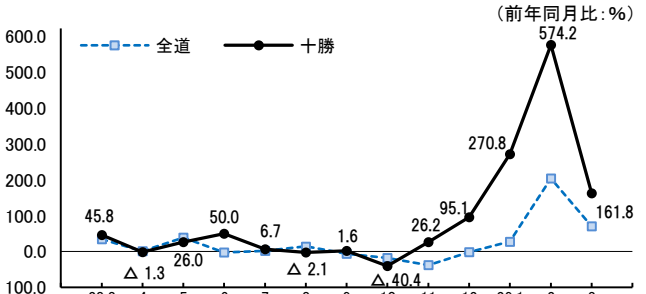


※町村を除く

(国土交通省調べ)

◆公共工事請負金額 (3月)◆

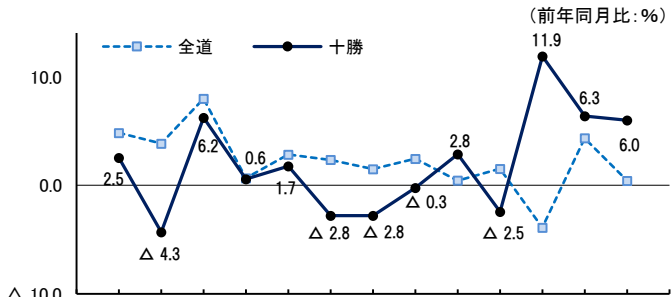
5か月連続で前年を上回った



(北海道建設業信用保証(株)調べ)

◆航空機利用による来道者数(着地別) (2月)◆

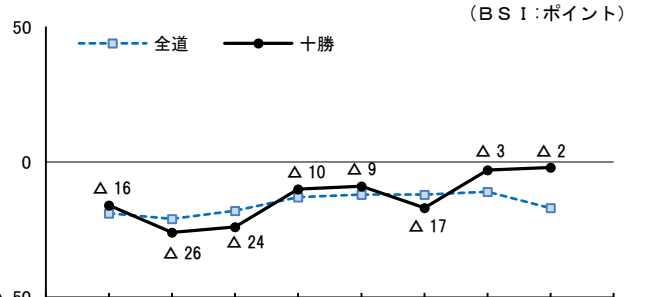
3か月連続で前年を上回った



((公社)北海道観光振興機構まとめ)

◆企業の業況感 (10-12月期)◆

前期からマイナス幅が縮小した



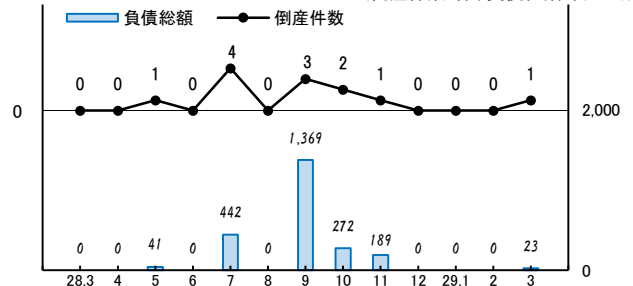
※最新期()は見通し

(北海道経済部調べ)

◆企業倒産件数・負債総額 (3月)◆

10億円以上の大型倒産は発生しなかった

(倒産件数:件、負債総額:百万円)

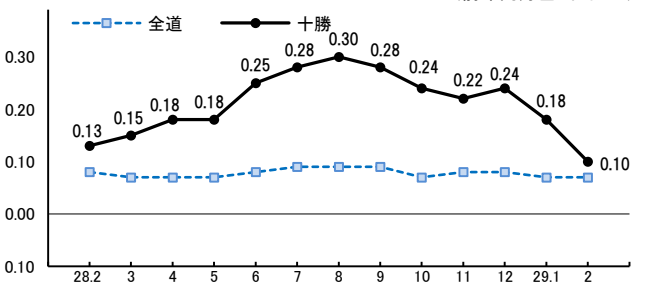


((株)東京商工リサーチ北海道支社調べ)

◆有効求人倍率 (2月)◆

27か月連続で前年を上回った

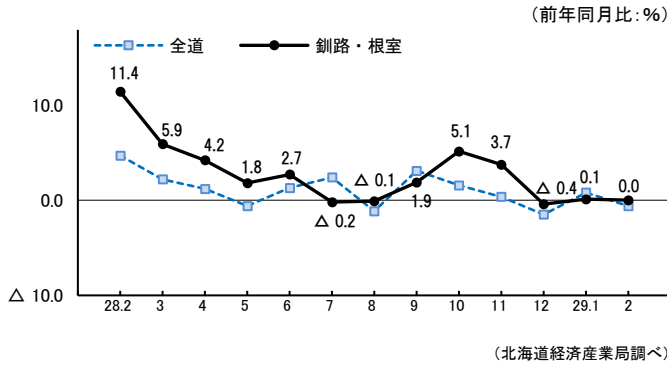
(前年同月差:ポイント)



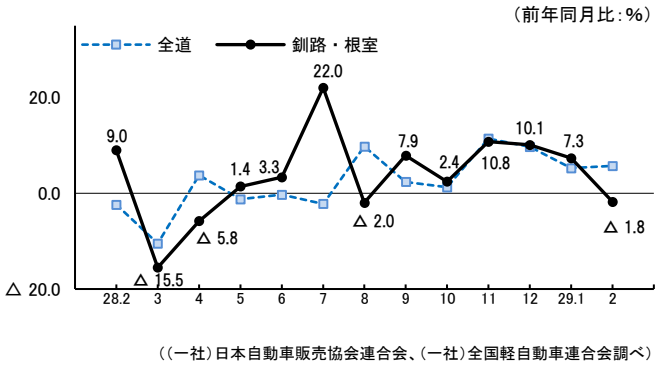
(北海道労働局調べ)

■釧路・根室地域

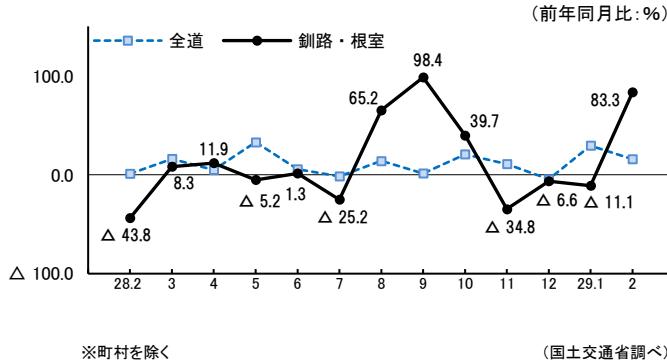
◆百貨店・スーパー販売額(全店)(2月)◆ (全店、釧路市) 前年同月と同数だった



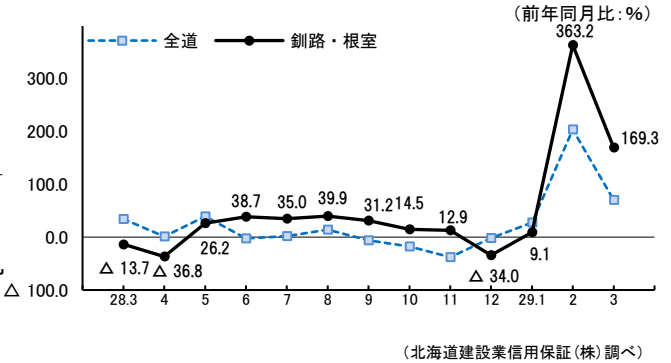
◆新車登録台数(乗用車)(2月)◆ 6か月ぶりに前年を下回った



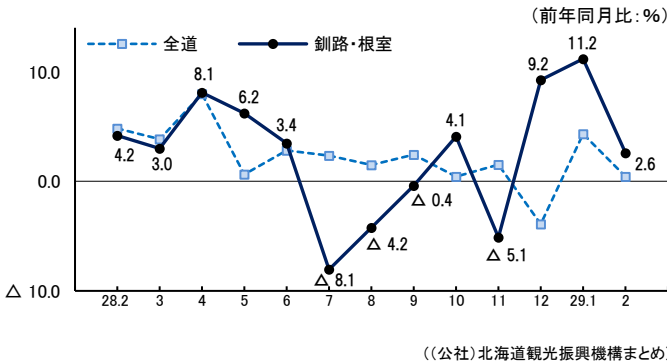
◆新設住宅着工戸数(2月)◆ 5か月ぶりに前年を上回った



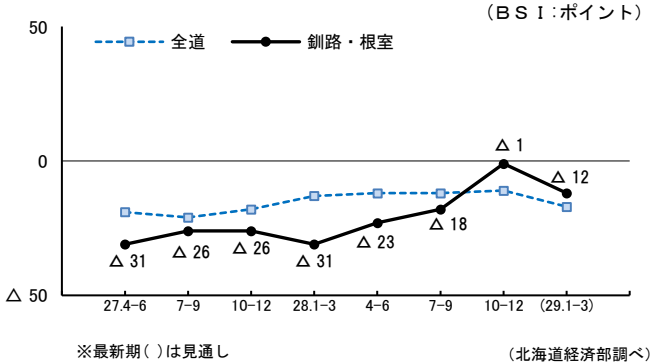
◆公共工事請負金額(3月)◆ 3か月連続で前年を上回った



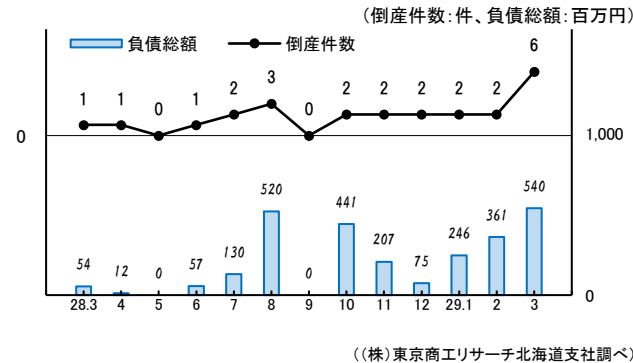
◆航空機利用による来道者数(着地別)(2月)◆ 3か月連続で前年を上回った



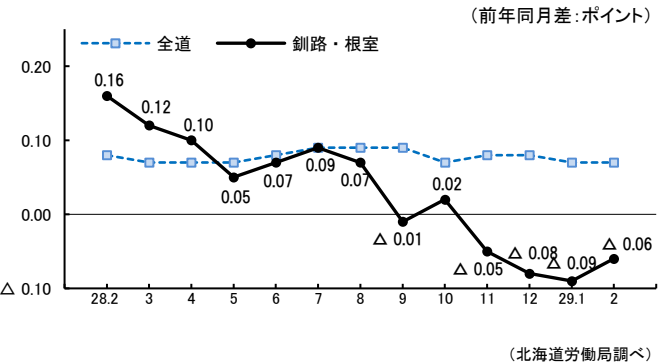
◆企業の業況感(10-12月期)◆ 前期からマイナス幅が縮小した



◆企業倒産件数・負債総額(3月)◆ 10億円以上の大型倒産は発生しなかった



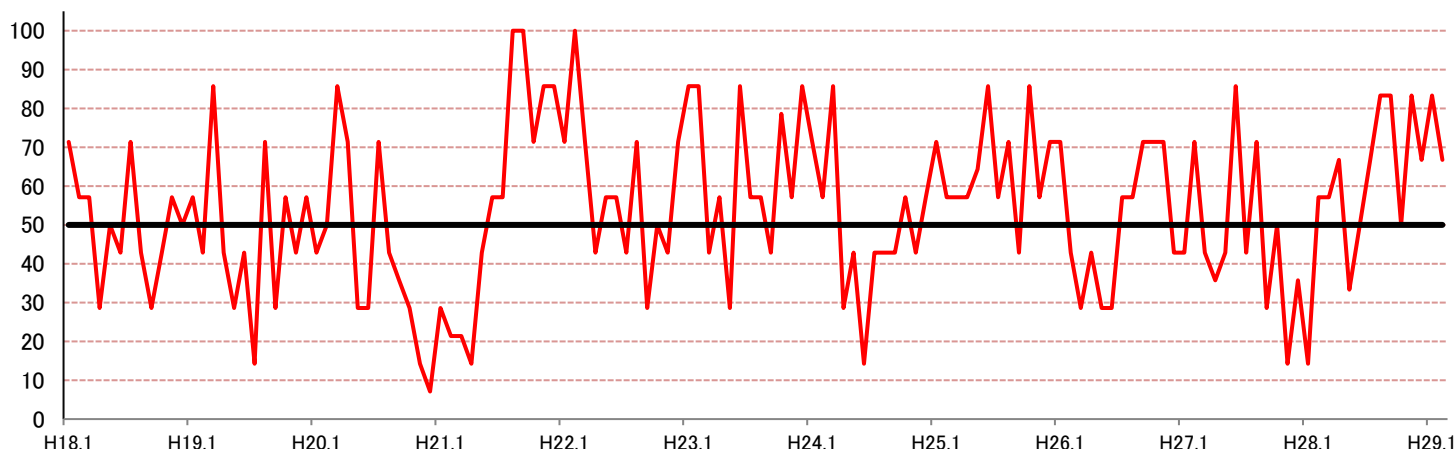
◆有効求人倍率(2月)◆ 4か月連続で前年を下回った



[景気動向指数・全国の景気]

■ 北海道の景気動向指数

景気動向指数(一致系列)グラフ



景気動向指数(先行・一致・遅行)変化

系 列 名		28/ 2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	29/ 1月	2月
先 行 系 列	新規求人数(新規学卒を除く全数)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	-	+	-	+
	雇用保険受給者実人員(逆サイクル)	+	-	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-	+
	生産指数(生産財)	-	+	+	+	-	-	-	-	-	+	+	r +	p +
	新車登録台数(軽を含む乗用車)	+	-	+	+	+	-	+	+	+	+	+	+	-
	新設住宅着工戸数	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	-	+	+
	企業倒産件数(逆サイクル)	+	+	-	-	-	-	+	-	+	-	+	+	+
	企業業況判断D.I.	0	0	+	+	+	-	-	-	0	0	0	+	+
	拡張系列数	5.5	3.5	5	5	4	2	3	2	3.5	3.5	4.5	5	6
	採用系列数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	先行指数	78.6	50.0	71.4	71.4	57.1	28.6	42.9	28.6	50.0	50.0	64.3	r 71.4	p 85.7
一 致 系 列	有効求人倍率(新規学卒を除く全数)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
	生産指数(鉱工業)	-	+	+	-	+	+	+	+	-	+	-	r +	p +
	出荷指数(生産財)	-	+	+	-	-	-	+	+	+	+	+	r -	p -
	大口電力使用量	+	-	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	百貨店販売額(既存店)	+	-	-	-	+	+	+	+	-	+	-	r +	p +
	着工建築物数(鉱業、建設業用+製造業用)	+	+	+	+	-	-	-	-	+	-	+	+	-
	輸入通関実績(原油及び粗油を除く)	-	-	-	-	-	+	+	+	-	+	+	r +	p +
	拡張系列数	4	4	4	2	3	4	5	5	3	5	4	5	4
	採用系列数	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
	一致指数	57.1	57.1	66.7	33.3	50.0	66.7	83.3	83.3	50.0	83.3	66.7	r 83.3	p 66.7
遅 行 系 列	常用雇用指数(規模30人以上)	+	-	-	-	+	-	-	-	-	+	+	+	
	完全失業率(逆サイクル)	-	-	0	0	0	-	-	-	+	+	+		
	消費者物価指数(総合)	-	-	+	-	0	-	0	+	+	+	+	+	+
	家計消費支出(二人以上の勤労者世帯)	-	-	-	+	-	+	+	+	+	+	+	+	-
	生産指数(資本財)	-	-	+	-	+	+	+	-	-	-	-	r -	p -
	拡張系列数	1	0	2.5	1.5	3	2	2.5	2	3	4	4	3	1
	採用系列数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	3
	遅行指数	20.0	0.0	50.0	30.0	60.0	40.0	50.0	40.0	60.0	80.0	80.0	r 75.0	p 33.3

(注) 1 北海道経済部経済企画局経済企画課試算。pは速報値、rは確報値。

2 景気動向指数(Diffusion Index 略してDI)は、景気に敏感な諸指標を選定し、そのうち上昇(拡張)を示している指標の割合を示すものであり、景気局面の判断、予測と景気転換点(景気の山・谷)の判定に用いる。採用系列の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、増加した時には+を、保合いの時には0を、減少した時には-をつける(変化方向表)。その上で、先行、一致、遅行の各系列群ごとに採用系列数に占める拡張系列数(+の数)の割合(%)をDIとする。

DI=拡張系列数/採用系列数×100(%) (保合い(0)の場合は0.5としてカウントする。)

最近の経済動向
平成29年4月号

編集・発行 北海道経済部経済企画局経済企画課

TEL 011-204-5139

「最近の経済動向」のデータ集は、北海道のホームページでご覧になれます。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/kks/ksk/tgs/saikin-doukou.htm>